

地域で活躍する多職種の医療従事者対象認知症対応力向上研修プログラム

		研修内容
I 基本的知識 (40分) 講師 いるか心療所 院長 (認知症疾患医療センター長) 九鬼 克俊 氏	ねらい	認知症の人や家族の視点に立ち、その生活を支えるために必要な基本的な知識を習得する。
	到達目標	1. 認知症の現状やその病態について、概要を説明できる 2. 認知症の早期発見・早期対応の意義を理解できる
	主な内容	・研修の目的と意義(認知症施策推進大綱の概要等) ・認知症とは(症状や原因疾患、認知症の経過等) ・認知症の危険因子・予防
II 社会資源等 (20分) 講師 姫路中央病院 認知症疾患医療センター相談員 河岸 真子 氏	ねらい	認知症の人を取り巻く、医療・介護及び地域の社会資源の活用の重要性を理解する
	到達目標	1. 認知症の人を支える施策や仕組みを理解できる 2. 活用できる制度等について本人・家族に説明できる
	主な内容	・認知症施策の全体像 ・認知症の人への支援の仕組み ・認知症の人への支援に関する主な制度等
10分休憩		
III 地域における実践(100分) 講師 兵庫医科大学病院 認知症看護認定看護師 内菌 真佐司 氏 ファシリテーター 西宮協立脳神経外科病院 認知症看護認定看護師 松永 清美 氏 関西ろうさい病院 認知症看護認定看護師 足立 理恵 氏 宝塚第一病院 認知症看護認定看護師 里村 洋子 氏	ねらい	認知症の人のQOLの向上を図るため、コミュニケーション、ケア及び多職種連携による支援の実際を理解する
	到達目標	1. 認知症の人の意思を尊重したケアの基本を理解できる 2. 認知症の人や家族への支援のポイントを理解できる 3. BPSDについて理解し、その対応について理解できる 4. 認知症である人への支援にあたって、多職種連携の意義や方法を理解できる
	主な内容	・認知症ケアの基本(本人視点の重視等) ・認知症の人の意思決定支援について ・認知症の人とのコミュニケーションの基本 ・アセスメントのポイント ・BPSDへの対応の基本 ・家族・介護者への支援 ・多職種連携の意義と実際
	ねらい	本研修で習得したことを基に、認知症の人や家族への対応の実際を考える
	到達目標	1. 認知症の人や家族への対応を習得した知識を基に考えることができる 2. 認知症の人や家族への対応を社会資源活用、多職種連携視点から考えることができる
	主な内容	事例を用いて、グループワーク
まとめ (10分)		